

一般財団法人地域活性化センター フェロー

木村 俊昭

東京農業大学農生命科学研究所 教授・博士
(経営学)



<略歴>

木村俊昭(きむらとしあき) 北海道生まれ。慶應義塾大学大学院博士後期課程単位取得。博士(経営学)。

1984 年小樽市入庁。財政部、議会事務局、企画部、総務部秘書課を経て経済部へ。産業振興課長、企画政策室主幹(プロジェクト担当)、産業港湾部副参事(次長職)。(1)産業・歴史・文化を徹底的に掘り起こし研ぎ世界に向けて発信するキラリと光り輝く「まち育て」、(2)未来を担う子どもたちに愛着心を育む「ひと育て」を信条に、「斜陽の街」と呼ばれていた小樽市の地域創生に奔走。寿司屋のヒアリングによる寿司評価基準の作成(知り気づきの機会創出)、小学生5~6年生対象の加工・販売体験のキッズベンチャー塾(愛着心の創出)、まちの語り部養成から三世代まち並み産業散歩(地域人財養成と定着)、全国初の歴史的建造物を活用したライトアップ事業(あるもの探しの実践行動)のほか、老舗ガラス工房の誘致などにより、地場産業振興や地元のものづくり職人による「ガラスの街・小樽」を確立し、産業観光都市としての地域ブランド化を推進。「地域創生の主役は地元の汗する人たち」という視点を大切に、広聴・傾聴・対話による指標(ものさし)の策定や、実学・現場重視の視点、全体最適思考からの地場産業の実態調査やストーリー性(希少性・物語)ある着実な施策を実施し、小樽市の「ひと育て」「まち育て」を実現。

2006 年からは内閣官房・内閣府企画官(地域活性化担当)として、主に地域再生策の策定、地域再生制度の事前・事後評価、地域と大学の連携、政府広報活動などを担当。地方再生戦略は九州圏・沖縄県担当。内閣府経済社会総合研究所特別研究員として地域活性化に関する調査研究を担当。2009 年からは農林水産大臣官房企画官として、主に農林水産業を中心とした地域活性化、地域の担い手養成、農商工連携・6次産業化などを担当。

現在は、東京農業大学農生命科学研究所 教授・博士(経営学)、東京大学客員教授、内閣官房シティマネージャー、総務省地域力創造アドバイザー、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事、日本地域創生学会会長、実践総合農学会理事(総務企画)、地域創生リーダー・プロデューサー人財塾長、スーパー公務員塾長などとして、大学・大学院講義(地域創生学・地域ビジネス論・企業論・地域活

性化システム論・演習)のほか、(1)実学・現場重視の視点、全体最適思考による「実践人財塾」の開塾(地域リーダー・プロデューサー養成)、(2)「五感六育」(知育・食育・木育・遊育・健育・職育)」の推進(バランスよい環境形成)、(3)「仕事環境の改善(時短、イベント・会議・事業見直し、0 歩環境等)」を實踐中。2020 年度からは、東京農業大学農生命科学研究so教授、東京大学大学院客員教授として「地域創生講座」を開講。広聴・傾聴・対話によるストーリー性(物語・脚本)ある総合計画・総合戦略等の策定や、国内外にて地域創生講演・現地アドバイスを実施中。地域創生に関する書籍、アニメ(5 分)・絵本の作成、作曲・作詞のほか、地域創生に関する地元で創る「五感六育®」映画を制作予定で準備中。人事院主催国家公務員(キャリア入省 3 年目・本省係長・課長補佐)研修講師、市町村アカデミー・自治大学校研修講師、中小企業大学校(東京校)、消防大学校(幹部職員)研修講師、全国地方銀行協会・全国信用金庫協会・全国信用組合主催幹部研修講師などを担当。北海道大学、新潟大学、東北大学、東京大学、東京農工大学、早稲田大学、慶應義塾大学、富山大学、大阪大学、神戸大学、島根大学ほか講義・講演講師、農林水産省食のモデル地域構築計画選定委員会副委員長、一般社団法人全国農業会議所委員会委員、公益社団法人日本青年会議所アドバイザー・褒賞委員兼地域プロデューサー育成塾長などを歴任。

NHK 番組プロフェッショナル「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」、新報道 2001、BS フジプライムニュース、テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ!」、TBS 黒柳徹子・爆笑問題「キズナ食堂」、ラジオ日本ほかに出演。

単著「『できない』を『できる!』に変える」(実務教育出版)、「自分たちの力でできる『まちおこし』」(実務教育出版)、「地域創生 成功の方程式ーできる化・見える化・しくみ化ー」(ぎょうせい)、「地域創生 実践人財論ー真心・怒・志ある汗かき人たちー」(ぎょうせい)、共著「人間関係づくりとコミュニケーション」(金子書房)、「決定版! 地域創生の本質ーイノベーションの軌跡ー」(ぱるす出版)、地域創生の絵本「たくさんのありがとう」(ぱるす出版)ほか多数。月刊誌「毎日フォーラム」ほかに地域創生の現場を連載中。現在、2021 年 1 月 30 日発行の単著「地域創生の真実ー『五感六育』な全体最適の『立体的ストーリー政策』の創発ー」(農の蔵文庫)をテキストに大学や大学院講義、地域創生講演や現地アドバイス、実践人財塾や「五感六育」事業を展開中!

※2022 年 2 月には、大学院木村ゼミ生・客員研究員 11 名との共著「地域創生・SDGs」(五感六育文庫)を出版予定、同年 3 月には、高校生・大学生・大学院生・社会人を対象に単著(仮題)「人口減少社会の学歴再考ー人生のストーリーデザイン思考ー」を出版予定で準備中。

<得意とする分野>

地域創生・SDGs の推進、地域創生リーダー・プロデューサー人財の養成。
地域創生論、地域ビジネス論、地域企業論、経営学、地域戦略的システムデザイン・マネジメント論、地域活性化システム論、地域産業経営論。

<自治体等との連携実績等>

具体的な自治体との実践事例としては、①奈良県御所市の「五感六育®」モデルの実践、②秋田県由利本荘市の「地域プロデューサー人財養成塾」の開塾、「五感六育®モデル（特に木育・遊育・食育の実践）」、③宮崎県日南市の商工業振興や歴史的建造物の利活用、④茨城県行方市の総合戦略策定と実践（なめがたファーマーズビレッジ等）、⑤大阪府泉大津市・京都府宮津市の若手職員リーダー研修、⑥つくば市の小中高大連携事業、⑦山口県との AI カメラ搭載 自動販売機（6 次産業化商品）販売やデータ解析による消費者動向調査などを担当。